

〔選考方法〕

◆第10回パンパシフィック大会(バンクーバー・8/17～20)

〔選考方法〕

- 1、選考競技会を日本選手権(東京・4/20～23)とする
- 2、選考は、競泳競技国際大会選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成人数は、全種目にエントリーすることを目標とし、これを人数とする
※対象種目はパンパシフィック大会実施種目に限定する
各種目の上位2名と3位で派遣標準記録Ⅰ・Ⅱを突破した選手をを選考の対象とする
- 4、リレーの選考は、別途考慮し選考する

◆第15回アジア大会(ドーハ・12/1～12/7)

〔選考方法〕

- 1、選考競技会を日本選手権及びパンパシフィック大会とする
- 2、選考は、競泳競技国際大会選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本オリンピック委員会が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成人数は、JOCの枠内とし全種目にエントリーをする

◆第12回世界選手権大会(メルボルン 3/25～4/1)

〔選考方法〕

- 1、選考競技会をパンパシフィック大会とする(特種目50mだけは、アジア大会も含む)
但し、日本選手権1・2位の選手で派遣標準記録Ⅰを突破した者は、自動的に選考する
- 2、選考は、競泳競技国際大会選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成人数は、派遣標準記録Ⅰ・Ⅱ突破者を人数とする
標準記録Ⅱ突破者の選考優先順位は、以下の通りである
①パンパシフィック大会の順位
②日本選手権の順位
特種目50m種目は、
①アジア大会の順位
②日本選手権の順位
※同タイムの選手が出た場合スイムオフにて決定する
- 4、リレーの選考は、別途考慮し選考する

◆ジュニア・アメリカ遠征(サンタクララ)

[選考方法]

- 1、選考競技会を日本選手権(東京・4/20～23)とする
- 2、選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり以下の項目を選考会において満たした場合、人数枠の範囲で項目順を優先し選考する
ア、インターナショナル及びナショナル標準記録を突破した選手の中で各種目決勝競技の入賞者
イ、B決勝以上でナショナル標準記録を突破した選手の中で種目間の較差を考慮し選考する
- 3、参加有資格者は、中学生及び高校生とする
昭和63年4月2日以降に生まれた者(平成18年4月2日を起算とし、18歳未満の者)
- 4、世界選手権代表以外から選考する
- 5、編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 6、編成人数は、16名以内とする

◆ユース・ヨーロッパグランプリサーキット2006大会

- 第1戦 フランス・キャネット(6/7・8) 第2戦 イタリア・ローマ(6/9-11)
第3戦 スペイン・バルセロナ(6/10-11) 第4戦 モナコ・モンテカルロ

[選考方法]

- 1、選考競技会を日本選手権(東京・4/20～23)とする
- 2、選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり以下の項目を選考会において満たした場合、人数枠の範囲で項目順を優先し選考する
ア、インターナショナルCを突破した選手の中で各種目決勝競技の入賞者
イ、インターナショナルを突破した選手の中で種目間の較差を考慮し選考する
- 3、参加有資格者は、大学1・2年生及び同年齢の社会人とする
- 4、パンパシフィック代表以外から選考する
- 5、編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 6、編成人数は、8名以内とする